

## 平成26年度第1回 野洲市景観審議会会議録

### 要 約 版

開催日時 平成26年7月11日（金） 午後2時から3時  
場 所 野洲市市民活動支援センター 大ホール

#### 1. 開会

【事務局】 それではただ今より第1回野洲市景観審議会を開催させていただきます。  
本審議会の成立ですが、9名全員の委員の皆様にご出席いただいておりますので、野洲市景観条例施行規則第22条第3項の規定により、本日の景観審議会が成立していますことを報告いたします。

#### 2. 挨拶

【市長】 野洲市は元々景観行政が進んでいなかったのですが、ここ数年間で条例や様々な制度を整えて今日に至っております。今回は、屋外広告物条例の制定をし、後は規制地域内の指定をするという作業です。これからが始まりで、如何に良い景観を作っていくのか、そして広告規制を適正にしていくという課題がございます。  
条例も先般6月25日に野洲議会で可決いただいたのですが、4名の方が反対をされましたが、それ以外の方々には賛成頂いて条例が出来ています。  
今回新しい委員の方、ご参画頂きましてご協力頂くと共に、前回からご参画頂いている委員の皆様におかれましては、引続き野洲市の景観、色々な点でご助言を頂くことをお願いしまして開会にあたっての挨拶とします。

【事務局】 （資料の確認）

次に委員任期が平成26年5月21日から平成28年5月20日と新しくなりましたので、委員及び職員の紹介をさせていただきます。（割愛）

それでは、議事の進行は会長選出までの間、市長が議事を進行させていただきます。それでは市長、よろしくお願いします。

#### 3. 議事案件

##### （1）会長の選出について

【市長】 それでは、会長が決定するまでの間、私が議事を進行させていただきます。

議事案件（1）「会長の選出について」です。

野洲市景観審議会条例施行規則第21条第1項には「会長は委員の互選によって定める。」となっております。事務局としてはこの屋外広告物条例の制定も、そもそもの景観の形成方針や景観条例についても当初からご指導ご協力いただいております県立大学の松岡委員に会長をお願いしたい。皆さん、いかがでしょうか。

【委員一同】 （異議なし）

【市長】 ご賛同いただきましたので、会長は、松岡委員にお願いすることとなりました。  
それでは、これより議事進行は、松岡会長にお願いすることにいたします。

【会長】 皆さん、こんにちは。ただ今、ご推挙を受けまして、当審議会の会長の職に就任になりました。就任に際し、一言ごあいさつ申し上げます。

私、野洲市景観審議会の前身ともいえる「野洲市の景観を考える委員会」にも参画させていただき、今回また、会長という大役をおおせつかりました。この景観審議会は、市長の諮問を受け、景観の形成に関する事項を調査審議するものです。これから皆さんに景観審議会の役割を意識していただいて、高い意識や知見からご意見いただき、このまちを美しくしていくというものです。

今はどの自治体も景観審議会を持っていますがそれぞれのまちの顔があります。野洲は特に「おおぞら」が一つのキーワードになっていましたが、本当に広々と山から琵琶湖に至るまでの自然景観を一通り持っています。それから古いまち等もあり、滋賀県の中でも、非常に重要なポイントを占めている。景観というのはそこに住む人間の生活そのものがそのまま出ていきます。だから意識の薄い自治体はあまりよろしくないという事になる。

素材が揃っていてうまく活用していくということ、それとフレームが出来つつあるということで。これから皆様にご協力頂きまして、進めていきたいというお願いにかえまして挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願い致します。

それでは、会議を続行したいと思います。

【会長】 さて、会長の職務代理者ですが、規則第 21 条第 3 項に「あらかじめ会長が指名する。」と規定していますので、私から中村委員にお願いしたいと思います。  
（中村委員了承）

## （２）野洲市屋外広告物条例に基づく規制地域の指定等について

【会長】 まず、市長から諮問がございますのでこれを受けたいと思います。

【市長】 野洲市景観審議会会長松岡拓公様、野洲市長山仲善彰、野洲市屋外広告物条例に基づく規制地域の指定等について諮問。

野洲市屋外広告物条例第 29 条各号の規定に基づき、『野洲市屋外広告物条例に基づく規制地域の指定等について』諮問いたしますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

【会長】 ただいま市長から諮問書を受けました。

それでは、「野洲市屋外広告物条例に基づく規制地域の指定等について」の審議に入ります。それでは事務局から説明をお願いします。

【事務局】 （資料 5、6、7、8 を用いて説明）

【会長】 ただ今、事務局から説明を受けましたが、これに対する質疑に入ります。

【A 委員】 この規制を設けることによって、違反広告物は現在確認できていますか。

【事務局】 今現在許可を出している物が既存不適格になる数字は掴んでおり 32 件。地上高 4.5m 以下という高さの基準にひっかかってくるものです。経過措置を条例付則に謳

っており、あらましですと 14 ページに経過措置という事で最長 7 年間の期間を設けています。

【会長】 今申請を出していないものは把握出来ているのですか。

【事務局】 市内全域の調査は出来ていませんので、この 8 月 1 日の全面施行から、実際の運用に向けて整理をしていかなければならないところで、今日現段階では違反物件が何件あるかは把握出来ていません。

【会長】 その辺りのバランスで何かしら対処しないと、申請される方がフェアな感じがしないですね。市内全部を見るとなると人手も費用もいるので中々大変だとは思いますが、その辺のバランスを取って進めていかないとならない。

【事務局】 はい。案としては景観重点地区を中心にまずは調査等を検討して参りたい。

【会長】 看板や広告物を製作する業者が、協力体制というか、その方々の協力を得ることによって体系化していくことが今後の課題ですね。

【B 委員】 地域別に高さや面積を決めているが、色合いについては一般基準において蛍光色を用いないとかあるが、この基準で市の望むまちづくりにあったものができるかと理解してよろしいのか。

【事務局】 今現段階では色彩の設定は一般基準でしか定めておりません。まだまだ必要な部分はあるが、他市ではマンセル値の数値を設定している市町もありますが、野洲市としては一般基準という形でけばけばしいもの、蛍光色、黒色等のものはなるべく避けて頂きたいという整理をさせて頂いています。

【B 委員】 数値で規制しているところもあるのですか。

【会長】 ありますね。繁華街があるところとか。野洲市は今のところ一般基準でコントロールしていくということで、何か修正が必要な事例が出てきたらその都度審議会で諮り、修正・付け加えを検討していくこともできます。

【会長】 幾つか今後の課題になるご意見を頂いた。他にご質問が無ければお諮りします。  
議事案件「野洲市屋外広告物条例に基づく規制地域の指定等について」は、原案に同意することについて、ご異議はございませんか。

【委員一同】 (異議なし)

【会長】 異議なしでありますので、議事案件「野洲市屋外広告物条例に基づく規制地域の指定等について」は、その旨、市長に答申することとします。

(休憩)

【会長】 ただ今配付した答申書(案)のとおり、市長に答申しますがよろしいですか。

【委員一同】 (異議なし)

【会長】 それでは、答申を行います。

諮問を受けました野洲市屋外広告物条例に基づく規制地域の指定等について原案に同意すると答申します。

【市長】 委員の皆さん有難うございました。

#### 4. その他

【A 委員】 条例が 8 月 1 日に施行ですが、施行日は市民の方にお知らせしていますか。

【事務局】 周知は、野洲市のホームページにも掲載予定ですが、広報は9月1日号に「施行しました」というご案内を予定。来週から工業会や商工会といった主に屋外広告物条例のメインの対象になってくる方や、今現段階で許可を受けている申請者にはあましの完成版を送付し情報周知を図っていきたい。

【会長】 他に何かございますか。

無いようでしたらこれもちまして第1回野洲市景観審議会を終了させていただきます。

## 5. 閉会

【部長】 野洲市屋外広告物条例に基づく規制地域の指定につきまして答申いただき、有難うございました。本日答申いただいたことを踏まえ、条例施行規則の告示と整理をしまして8月1日の条例施行に向けて取り組んで参りたい。より良い景観の形成に向けて、屋外広告物の適正な規制がされるよう、調査、周知の方法等について検討して参りたい。

委員の皆様におかれましても、引続き野洲市の景観まちづくりの推進のために、ご指導・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げまして、閉会にあたりましての挨拶とさせていただきます。

本日は誠に有難うございました。

—— 終了 ——